

NADA

ミニドットプリンタ

MODEL

MP-333F

操作
説明書

このたびは、ミニドットプリンタをお買いあげいただき、

まことにありがとうございました。

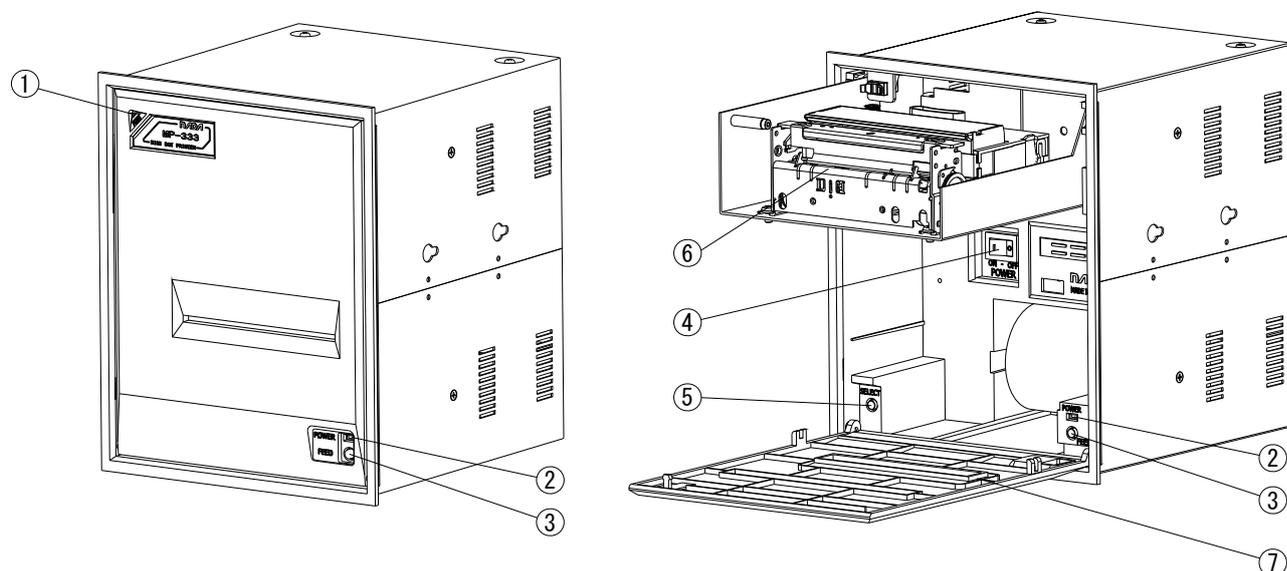
正しくご使用いただくために、この操作説明書をよくお読

みのうえ、末永く、ご愛用くださるようお願い申し上げます。

ナダ電子株式会社

技2S-180718

■各部の名称と働き



① 前面パネルロック部

ここを押して前面パネルのロック、解除を行います。

② インジケータ

電源ONで赤または緑に点灯します。

ペーパーエンド時には赤になりディセレクト状態となります。

動作中エラー時には赤と緑が交互に点滅します。ただちに電源をOFFし紙詰まり等があれば取り除き、再度電源をONしてください。

③ フィードスイッチ

このスイッチを押すと最初はゆっくり、押し続けると途中から速く紙送りします。

*このスイッチを押しながら電源をONするとテスト印字ができます。(参照：自己診断機能)

テストプリントの印刷が終了すると受信可能状態となります。その際のANK文字形式は5×7ドットフォントになります。

④ 電源スイッチ

電源のON/OFFを行います。

⑤ セレクトスイッチ

このスイッチを押す毎にセレクト（オンライン）、ディセレクト（オフライン）が交互に切り替わります。

セレクト……インジケータ緑（外部からのデータ受信可能）

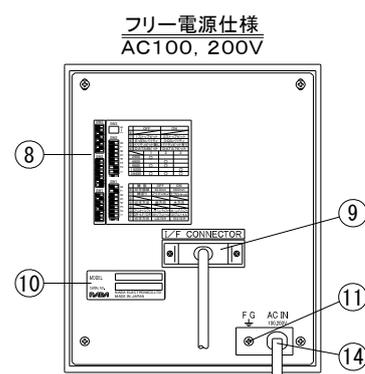
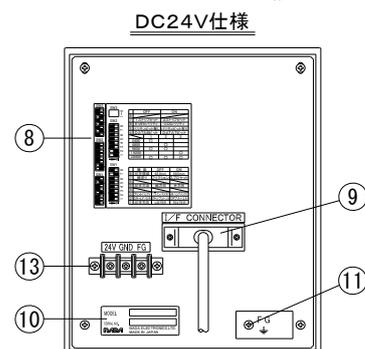
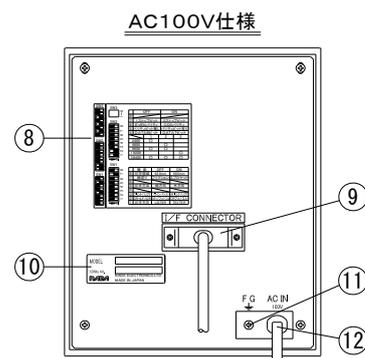
ディセレクト……インジケータ赤（外部からのデータ受信禁止）

プリンタがエラー状態の時に、インジケータのエラー表示を解除します。

(注) エラーの原因を取り除くものではありません。プリンタを電源投入時と同じ状態にするだけのものです。

原因によってはエラーが解消される場合があります。

- ⑥ **ペーパーエンドセンサ**
このセンサで紙切れを検出しています。
- ⑦ **紙出口**
ここに紙を通しペーパーカットも行います。
- ⑧ **ディップスイッチ設定用窓**
中の基板上的ディップスイッチの設定を変更するための窓です。
設定変更時は、必ず取扱説明書を参照し、むやみに触れないようにして下さい。
- ⑨ **インターフェースコネクタ**
ここに信号ケーブルを接続するコネクタがあります。
- ⑩ **銘板**
モデル名とシリアル番号が表示されています。
- ⑪ **アース端子**
筐体アースを接続します。
- ⑫ **AC電源コード (AC100V仕様)**
電源 (AC100V) を供給します。
- ⑬ **DC電源コネクタ (DC24V仕様)**
電源 (DC24V) の供給コネクタです。
- ⑭ **AC電源コード (フリー電源仕様)**
電源 (AC100V～240V) を供給します。
(125V以上でご使用になる場合プラグを変更してください。)



* 自己診断機能 *

フィードスイッチを押しながら電源ONすると下記のテストパターンを印字開始します。

モデル名

バージョン

ディップスイッチの設定SW1～SW3の内容

ANK文字サンプル印字

漢字文字サンプル印字

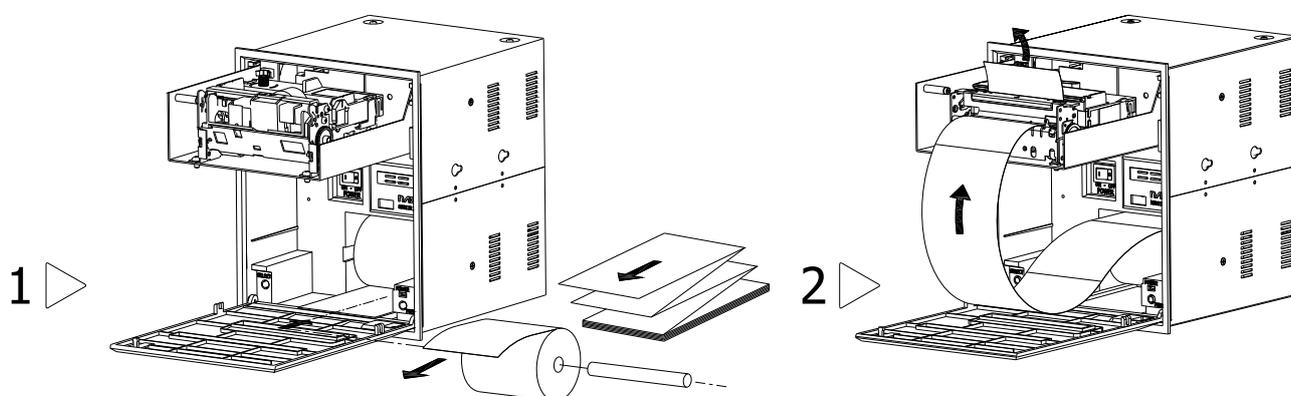
* HEXダンプ機能 *

セレクトスイッチを押しながら電源をONすると、<<<HEX ダンプモード >>> と1行印字した後（印字後にスイッチから手を放します）、HEXダンプモードになります。

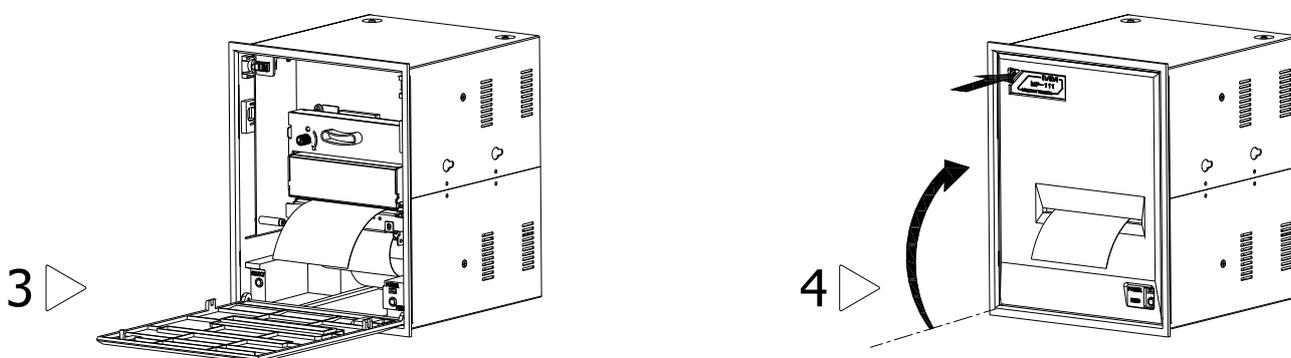
印刷可（オンライン）の状態ですと、データを送信すると、データを16進コードで印字します。

■ペーパーセット方法

1. 前面パネルを開け、メカユニットを手前に持ち上げます（ロックすることもできます）。次にロールシャフトを通し（折りたたみ紙はそのまま）図のように奥にセットします。セットする際はロール紙の送り方向に注意してください。
2. セットした紙をプリンタメカのペーパー挿入口から差し込みフィードスイッチを押して送り込みます。差し込んだ時に自動的に一定量の紙送りをする場合はD I P SW3-3をONに設定しておきます。（※用紙の先端をカット位置に合わせる機能ではありません。また、D I P SW設定作業時は必ずプリンタの電源をOFFにして行ってください）その後、紙が完全に出るのを確認するまでフィードスイッチを押してください。



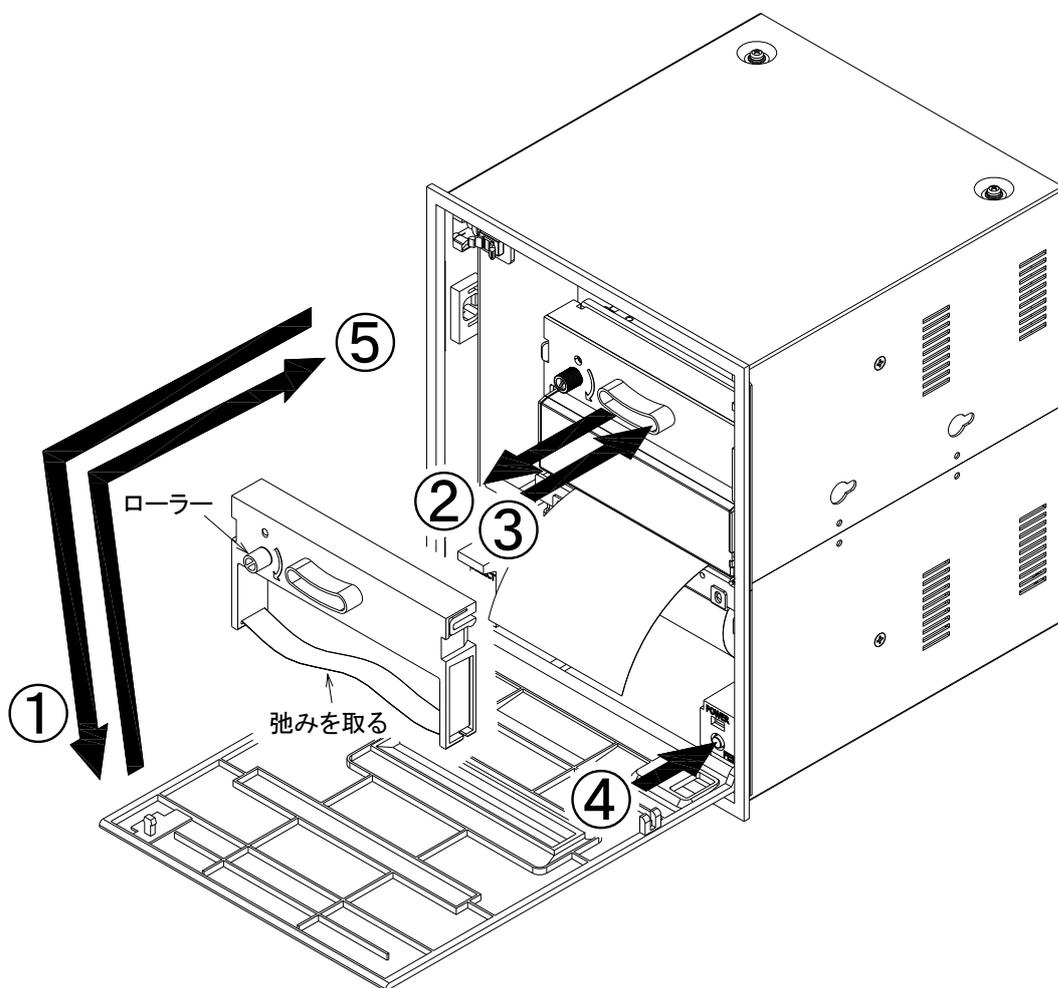
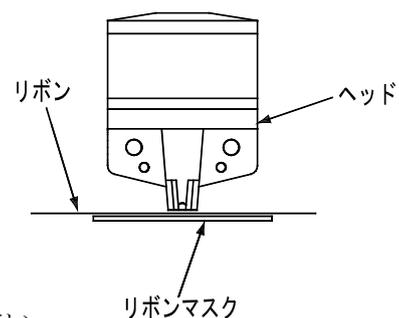
3. メカユニットをゆっくり下げロックするところまで押し込みます。フィードスイッチを押し紙のたるみを取り除きます。セレクトスイッチを2回押し、インジケータが緑になるのを確認します。
4. 紙出口に紙を通し、前面パネルを持ち上げ、パネルロックを押して閉めます。



(注) 印刷可（オンライン）状態にした時に受信バッファに残っているデータを印字します。但し、エラーでランプが点滅している時にセレクト（SELECT）スイッチを押して点滅を解除するか電源を入れ直した場合には、受信バッファに残っていたデータはクリアされて印字しません。

■リボンカセット変更方法

- ①前パネルを開きます。
- ②リボンカセットの取っ手を持ち手前に外します。
- ③リボンカセットを取り付けます。
取り付け時、うまく入らない場合ローラーを少し回すと取り付けられます。
リボンに弛みがある時は、ローラーを矢印方向に回して弛みを取り除いてください。
リボンがリボンマスクとヘッド間に挟み込まれていることを確認してください。(右図参照)
- ④FEEDスイッチを操作してリボンの動き、記録紙の送りに異常がない事を確認します。
- ⑤前パネルの用紙出口よりロール紙を出し、前パネルを閉じます。



■スイッチ操作機能

1. テストプリント機能

① 操作方法

FEEDスイッチを押した状態のままで電源をONする事でテストプリントを開始します。
SELECTスイッチを押すと、テストプリントは一時停止します。再度SELECTスイッチを押すと、テストプリントの続きを印字します。電源をOFFするとテストプリントを中止します。
テストプリントの印刷が終了すると受信可能状態となります。

② 機能内容

プリンタ内部のメカユニットの動作確認及び内部ロジックの動作をチェックします。又、ディップスイッチの設定内容を印字するので機能設定の確認も行えます。

2. HEXダンプ機能

① 操作方法

SELECTスイッチを押した状態のままで電源をONすると、<<< HEX ダンプモード >>> と1行印字した後（印字後にスイッチから手を放します）、HEXダンプモードになります。

② 機能内容

受信したデータをそのままHEX（16進）コードで印字します。

受信データの確認が行えます。

バッファフル未満のデータは最後のデータが入力されてから1秒後に自動的に印字されます。

（注）各コマンドの〔機能〕は働きません。

■エラー時の復帰の仕方

1. ペーパーエンド（用紙切れ）時

① インジケータが赤色に点灯します。

② 用紙をセットして印刷可（オンライン）の状態にします。

（用紙のセットの仕方は □ペーパーセット方法 の頁を参照）

③ 受信バッファにデータが残っている場合は残りのデータを印字します（プリンタの電源を入れ直した場合、データはクリアされるので印字しません）。

2. その他メカニズムが原因のエラー時

① インジケータが赤色に点滅します。

（エラーの内容については、□パネルスイッチランプの表示（エラー表示）一覧 の頁を参照）

用紙が折れて詰まっている場合は取り除いてください。

② プリンタの電源スイッチをOFF→ONします。又はセレクトスイッチを押してプリンタを電源投入直後の状態にします。

①で用紙を取り除いた場合は用紙をセットしてください。

（用紙のセットの仕方は □ペーパーセット方法 の頁を参照）

③ プリンタの受信バッファに残っていたデータは印字できません。

（注）②でセレクトスイッチを押す場合は、スイッチからすぐに手を放してください。

長く押し続けているとHEXダンプモードになる事があります（参照：HEXダンプ機能）。

■パネルインジケータの表示（エラー表示）一覧

インジケータの状態	内容	対処方法
緑点灯	オンライン状態（セレクト）	印刷できます。
赤点灯	ペーパーエンド（用紙切れ） オフライン状態（ディセレクト）	用紙をセットしてください。 紙送り（FEED）スイッチを押した後、SELECT スイッチを押してください。
消灯	ペーパーエンド（用紙切れ）後に用紙をセット したあとの SELECT スイッチ 1 回目押下。 MPS-111CS の場合は用紙の自動頭出し直後。	もう一度 SELECT スイッチを押してセレクト 状態にしてください。 受信バッファに残っているデータを印字し ます。 但し電源を入れ直した場合は受信バッファ に残っていたデータはクリアされます。
緑赤交互点滅	メカ・エラー	メカの故障、紙詰まり、ゴミが溜まる等 が原因で印字ヘッドが正常に動作でき ない状態にあります。 電源を OFF にして原因を取り除いてくだ さい。
	マークセンサ検出エラー	マークセンサが用紙のマーク位置を検出で きない状態にあります。 マークの大きさが仕様合っているか確認 してください。 マークセンサの調整を行ってください。 ※ マークセンサ仕様時のみ該当します。
赤点滅	サーミスタ・エラー	印字ヘッドが高温状態にあって印字で きない状態にあります。 電源を OFF にして、温度を下げてくださ い。

(注1) エラーでランプが点滅している時に SELECTスイッチを押して点滅を解除するか、電源を入れ直した場合には受信バッファに残っていたデータは印字されません。

(注2) エラーでランプが点滅している時に SELECTスイッチを押して点滅を解除する場合は、スイッチからすぐに手を放してください。長く押しているとHEXダンプモードになる事があります。

（□スイッチ操作機能を参照）

○リボンカセット

I R-31B (黒色)



○記録紙

普通ロール紙
(NR-760)



○記録紙

普通折畳み紙
(NF-760)



○記録紙

普通ロール紙 NR-760 (76mm幅×60φ×35m長さ)

普通折畳み紙 NF-760 (76mm幅×5^{インチ}×35m長さ)

ラベル紙 L3-66-30M (76mm幅×60φ×400枚)

L3-66-30M-1 (76mm幅×60φ×250枚)

○リボンカセット

I R-31B

リボン寿命………190万文字

※製品改良に伴い外観、仕様その他について変更することがありますのでご了承下さい。
機器設定にあたっては最新の仕様をお問い合わせ下さい。



ナダ電子株式会社

本 社	神戸市東灘区本山南町1丁目4番43号	〒658-0015
	TEL(078)413-1111 FAX(078)412-2222	
東 京(営)	東京都港区芝4丁目5-11 芝プラザビル	〒108-0014
	TEL(03)3455-4230 FAX(03)3455-4249	
名古屋(営)	名古屋市名東区上社1-1304 北村第三ビル	〒465-0025
	TEL(052)776-1921 FAX(052)775-6080	
福 岡(営)	福岡市博多区博多駅南1丁目7-16 オーリン7号ビル	〒812-0016
	TEL(092)471-8305 FAX(092)471-8355	